

夏季限定幸福論

夕日色 すこし目を離れた際に変わるあなたに猫じゃらし振る

ママの子でいつづけること 灰かぶりのピアッサーも捨ててしまった

ささやかに舌を転がるぼくの名をわたしはピーチ味だとおもう

七月のばかとおい冬 共テまで残り何日？毎日たずねる

みずうみの世界をときどき束ねて 追憶は花束になったんだっけ

カーテンの隙間からこぼれる隣家の灯りずっと異世界だった

蝉のぬけがらを親指で潰す 天から飛び降り自殺する雨

何年もこどもが乗っていないブランコに座るわたしをこどもが見ていた

放課後の文化祭準備こと交際準備 喧騒と耳打ち

人魚たちが幻想であるのならばあなたの人魚でありたかった

火葬場が嫌いだいまも 恋をして死にたくなって 海葬がいい

Dear スクバ・ブレザー・ローファー空の青さを知るモノよ、ねえそばにいて

あたたかいところつめたいところどっちかしか見えぬ天体観測

夏 夏 夏 とめはねはらいきれいに 後悔なんてしないように

えいえんとホメオスタシス 南極でも無人島でも光るあなた

通学路に昨日落ちてたマスコット今日はいないねはっぴーえんど

蕾咲くおとうとの横顔をただ見てるだけ おくれて梅雨が来る